

(2) BM 研究会活動

- H18.6.7 詳細⑩：BM 研究会設立総会
- H18.6.7 詳細⑪：第1回ブリッジマネジメントフォーラム
- H18.12.1 詳細⑫：広島ブリッジマネジメントワークショップ
(広島工業大学と共同開催)
- H18.12.6 詳細⑬：第2回ブリッジマネジメントフォーラム
- H19.8.3 詳細⑭：第3回ブリッジマネジメントフォーラム
- H19.9.25 詳細⑮：横浜ブリッジマネジメントワークショップ
(道路橋補修補強 i ーギルド研究会と共同開催)
- H19.10.4 詳細⑯：北海道ブリッジマネジメントワークショップ
(北海道土木技術会と共同開催)
- H19.12.11 詳細⑰：鳥取ブリッジマネジメントワークショップ
(鳥取大学と共同開催)
- H20.5.30 詳細⑱：高松ブリッジマネジメントワークショップ
- H20.6.5 詳細⑲：ブリッジマネジメント研究会第3回総会
- H20.6.5 詳細⑳：第4回ブリッジマネジメントフォーラム
- H20.11.21 詳細㉑：金沢ブリッジマネジメントワークショップ
- H21.2.20 詳細㉒：山口ブリッジマネジメントワークショップ
- H21.6.1 詳細㉓：ブリッジマネジメント研究会第4回総会
- H21.6.1 詳細㉔：第5回ブリッジマネジメントフォーラム
- H22.6.21 詳細㉕：第6回ブリッジマネジメントフォーラム
- H23.6.24 詳細㉖：第7回ブリッジマネジメントフォーラム
- H23.6.29 詳細㉗：NPO 関西橋梁維持管理－大学コンソーシアム (KISS)
キックオフ講演会

ブリッジマネジメント研究会のご案内

ブリッジマネジメント研究会の設立主旨

財団法人大阪地域計画研究所（RPI）は、その設立目的に「都市機能向上」「地域社会づくり」を掲げており、そのための事業として「社会資本アセットマネジメントの研究開発および普及促進事業」を実施することを方針決定いたしました。

社会資本の中でも橋梁の劣化進行は深刻で、多くの橋梁管理者が橋梁維持管理の重要性を認識していますが、同時に、課題・問題点として、技術情報不足、技術スタッフ不足、予算不足をあげています。中でも、劣化予測や有効な補修・補強に関する実用レベルの技術情報が不足していると考えられています。

一方、大学等研究機関や民間企業においては、社会資本の維持管理が今後重要になってくるとの認識から、劣化進行のメカニズム解明や補修・補強技術などに関する研究が盛んに行われ

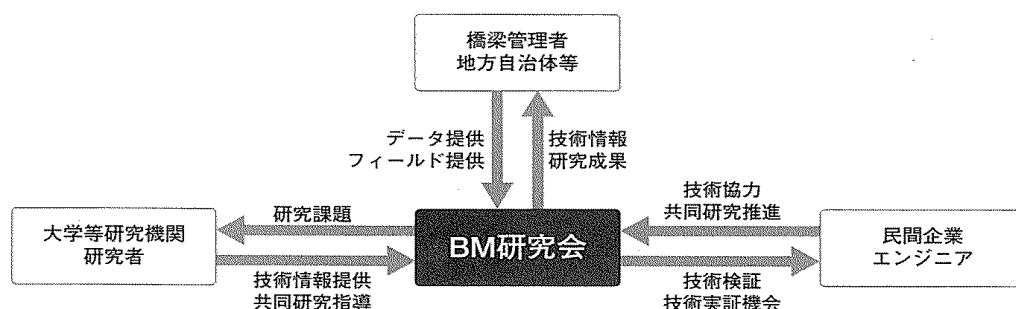
ていますが、橋梁の維持管理業務に直接携わっていないため、実際の橋梁を対象にした研究・開発の機会が極めて少ないことが研究促進を遅らせる要因の一つとなっています。

このような現状を鑑み、RPIでは、全国の橋梁管理者、大学等公的研究機関および民間の研究者にご参加いただき、橋梁の維持管理に関する共同研究を促進する場としての「ブリッジマネジメント研究会」を発足いたします。

ブリッジマネジメント研究会の設立主旨にご賛同いただき、同研究会にご加入下さいますようお願い申し上げます。

財団法人 大阪地域計画研究所（RPI）理事長
渡邊 英一

ブリッジマネジメント研究会の概要



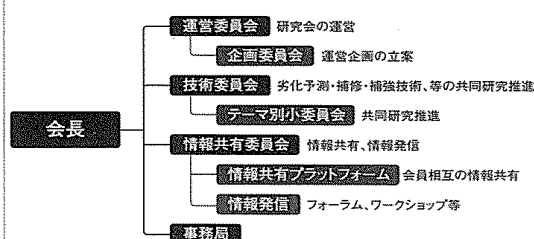
目的

ブリッジマネジメント研究会（BM研究会）は、橋梁管理者、大学等研究機関の研究者および民間企業エンジニアの協力を得て、地方自治体等の橋梁管理者が管理する橋梁を対象として、その維持管理・更新に必要な技術情報に関する研究・開発を共同で推進し、得られた技術情報を共有し、もって実務レベルのブリッジマネジメントの推進に寄与することを目的として活動します。

参加者の役割

- | | |
|----------------|---------------|
| ①橋梁管理者の役割 | ②大学等研究者の役割 |
| ●フィールドデータの提供 | ●技術情報の提供 |
| ●新技術実証機会の提供 | ●新技術開発の指導・推進 |
| ●技術課題・研究課題の提供 | ●共同研究の指導および推進 |
| ●共同研究の推進 | |
| ③民間企業・エンジニアの役割 | |
| ●技術情報の提供 | |
| ●新技術開発の推進 | |
| ●共同研究の推進 | |

組織



事業内容

- ①点検・モニタリング、劣化予測ならびに補修・補強技術、ブリッジマネジメント等、橋梁の維持管理・更新に必要な技術情報に関する調査・研究ならびに新技術開発
- ②橋梁の維持管理・更新に必要な技術情報を会員間で共有するための活動
- ③橋梁の維持管理・更新に必要な技術情報を会員外に対して発信する活動

ブリッジマネジメント研究会へのご入会のお願いと その発足記念フォーラムのご紹介

小野小町は『花の色は移りにけりないたずらに、我が身世にふる眺めせしみに』と詩っておりますが、社会基盤につきましては世の中の人のほとんどが、修理をしなければならないのは設計・施工がまずかったからと思っています。そうではないのです。当初はどんなに素晴らしくて完璧なインフラでも時間が経つと必ず劣化するのです。メンテナンス(維持管理)フリーのものはあり得ないのです。私ども技術者ができることはその劣化度をソフト・ハード的に極力最小限度に抑えることです。

私ども財団では公益事業として社会資本マネジメント(アセットマネジメント)の研究開発促進および普及事業を推進したいと考えております。そこで橋を取り上げ、「ブリッジマネジメント研究会」を設立し、産・官・学の協力体制を構築したいと存じ、ここに皆様各位に声をかけさせて頂いて居る訳でございます。橋梁の最先端の劣化予測や補修・補強に関する技術情報を求めている橋梁管理者と、劣化予測技術や補修・補強技術の研究開発のためにフィールドデータを求めている大学研究者・民間エンジニアに同研究会への参加を呼びかけます。橋梁管理者にフィールドデータと実構造物を提供して頂く一方で、大学研究者・民間エンジニアとの共同研究によって得られた劣化予測技術や補修・補強技術に関する研究開発の成果を橋梁管理者に還元して頂くことを目的と致しております。

各位の当研究会へのご参加を切にお願いする次第でございます。また、この研究会の発足を記念しましてブリッジマネジメントフォーラムを企画致しました。どうか多数の皆様がお出で頂けますようお願い申し上げます。

財団法人 大阪地域計画研究所(RPI) 理事長 渡邊英一
RPI ブリッジマネジメント研究会 会長 古田 均

2006 年 6 月 2 日

ブリッジマネジメントフォーラム
参加者各位

財団法人大阪地域計画研究所
Regional Planning Institute (RPI)
ブリッジマネジメント研究会
会長 古田 均

フォーラム申し込み受付のご通知 ならびに
ブリッジマネジメント研究会 第 1 回総会のご案内

拝啓、時下ますますご清祥のことと存じます。

この度は、ブリッジマネジメントフォーラムへの参加申し込みを頂きありがとうございました。6 月 1 日時点で 208 名様のお申し込みを頂戴いたしました。定員は 200 名ですが予備椅子を準備して対応させていただきたいと考えております。

また、数十名の方々からブリッジマネジメント研究会への参加申し込みを頂戴しました。そこで、6 月 7 日のブリッジマネジメントフォーラムの機会を活用し、下記要領にて第 1 回総会を開催することといたしました。研究会の組織・活動方針などにつきましてご説明ならびに意見交換をさせていただきたいと考えております。

なお、第 1 回総会は BM 研究会の活動についての説明を兼ねております。BM 研究会への参加をご検討中で、まだ登録をされていない方は、ぜひともオブザーバー出席されますようお願いいたします。急なご連絡となりましたことを深くお詫びする次第です。

敬具

記

ブリッジマネジメント研究会 第 1 回総会

- 1 日 時 : 2006 年 6 月 7 日(水) 11:00～11:30
- 2 場 所 : 東京国際フォーラム ホール D5 (東京都千代田区丸の内 3-5-1)
- 3 議事次第 :
 - 1) 理事長挨拶 RPI 理事長 渡邊 英一
 - 2) 研究会の活動方針 BM研究会会長 古田 均

以上

詳細⑰：第1回ブリッジマネジメントフォーラム



第一部：講演会（13:00～）

- 開 会 渡邊 英一【財団法人 大阪地域計画研究所 理事長】
基調講演 岡村 甫【高知工科大学 学長】
「道路構造物の今後の維持・更新のあり方について」
招待講演 茅野 牧夫【国土交通省 道路局 保全企画官】
「『荒廃する日本』としないための道路管理」
招待講演 高木 千太郎【東京都 建設局 道路管理部 専門副参事】
「東京都のアセットマネジメントへの取り組み」
招待講演 葛西 憲之【青森県 県土整備部 理事】
「青森県の橋梁アセットマネジメントへの取り組み」
招待講演 小林 潔司【京都大学 大学院 教授】
「ブリッジマネジメントの思想と実際」

第二部：パネルディスカッション（15:00～）

- 座 長 古田 均【関西大学総合情報学部 教授／ブリッジマネジメント研究会 会長】
パネリスト 小林 潔司【京都大学 大学院 教授】
那須 清吾【高知工科大学 教授・社会マネジメントシステムセンター長】
高木 千太郎【東京都 建設局 道路管理部 専門副参事】
坂本 幸三【大阪府 都市整備部 道路環境課長】
山本 昇【青森県 県土整備部 道路課 アセットマネジメント推進チームリーダー】
久保 博道【高知県 土木部 道路課長】
西林 素彦【阪神高速道路㈱ 保全施設部保全企画グループ補佐】

日時 2006年6月7日（水曜日）13:00～17:00

場所 東京国際フォーラム ホールD5
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1
代表TEL:03-5221-9000

定員 200名

参加費 5,000円

お問合わせ 財団法人 大阪地域計画研究所（RPI）
ブリッジマネジメント研究会事務局
〒561-0834 大阪府豊中市庄内栄町2-21-1
TEL:06-6334-3511 URL <http://www.rpi.or.jp>



講師ご紹介



高知工科大学 学長
岡村 甫氏

略歴／1961年東京大学工学部土木工学科卒業、1966年東京大学大学院工学系研究科博士課程土木工学専攻修了(工学博士)、1982年東京大学工学部教授、1989年米国ワシントン大学客員教授、1992年東京大学評議員、1996年東京大学大学院工学系研究科長兼工学部長、1999年東京大学名誉教授、2001年4月高知工科大学学長、現在に至る。土木学会会長(1999-2000年)、筑波大(2001年)

ご挨拶



財団法人 大阪地域計画研究所(RPI)理事長
渡邊 英一

略歴／1964年京都大学工学部土木工学科卒業、1966年京都大学大学院工学系研究科修士課程終了、1968年米国アイオワ州立大学工学研究科修士課程修了(M.S.)、1969年米国アイオワ州立大学大学院博士課程修了(Ph.D.)、1970年京都大学工学部助教授、1987年京都大学大学院工学研究科教授、2005年京都大学名誉教授、2005年(財)大阪地域計画研究所理事長、現在に至る。土木学会副会長(2004-2005年)

ブリッジマネジメント研究会のご案内

安全・快適な社会生活を守っていくためには、その基盤となる道路ネットワークの維持、中でも橋梁の維持は不可欠です。全国には67万の道路橋がありますが、これらを適切に維持管理していくためには、技術の確立、人材育成、予算確保など山積する課題を解決していく必要があります。そのためには、多くの橋梁管理者、研究者、技術者が協力して問題解決にあたらなければなりません。(財)大阪地域計画研究所(RPI)では、全国の橋梁管理者、大学等公的研究機関および民間の研究者のご参加を得て、橋梁の維持管理に関する問題解決型のブリッジマネジメント研究会を発足いたします。同研究会では、フォーラム、ワークショップ、情報共有プラットフォーム等によってメンテナンス情報の共有を図ると共に、課題解決型の共同研究を推進してまいります。皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

橋がはたつと存在し、それを人々が日々利用できることが何よりであります。橋は人体で言えば血管の一部です。橋は住民の財産であり、空気のように自明で、社会を根底から支える極めて必要欠くべからざる存在であり、社会生活を営む上で基幹的な臓器です。私どもはこれを幾久しく大切に健康に維持せねばなりません。

社会基盤の整備の方向は「彫刻家」から「医師」の世界へ、新規のインフラ作りから維持・管理・補修の時代、インフラの健康診断・内科・外科的手当をする時代へと推移しています。モニタリング、データ収集、診断技術の確立には、最先端のセンサーやリモートセンシング、GPS、GIS等を含む情報収集そしてデータベースの構築などが不可欠であります。なによりも正確な診断を下せるための基本科学の確立が肝要であります。本フォーラムではこのような観点からインフラとして橋を取り上げ、そのアセットマネジメントを考える場を設けました。皆様からの良いお知恵を期待しております。

参加ご希望の方は5月31日(水)までに、郵送、FAXまたはE-Mailにてお申し込みください。

※参加希望者が多数の場合は、定員になり次第締め切らせていただきますのでご了承ください。

郵送先

〒561-0834

大阪府豊中市庄内栄町2-21-1

財団法人 大阪地域計画研究所

ブリッジマネジメント研究会事務局

FAX

06-6331-4884

E-Mail

furukawa@rpi.or.jp

ブリッジマネジメントフォーラム FAX申込用紙

(フリガナ) 代表氏名	住所
(フリガナ) 会社名	電話番号 () FAX番号 ()
所属・役職	E-mail
(フリガナ) 参加者名	所属・役職
(フリガナ) 参加者名	所属・役職
(フリガナ) 参加者名	所属・役職

【個人情報の取扱いについて】お申し込みの際に取得する個人情報につきましては、本フォーラムに関する連絡および参加者名簿の作成以外の目的で使用されることはありません。

第1回ブリッジマネジメントフォーラム

主催 財団法人大阪地域計画研究所（RPI）
 日時 2006年6月7日水曜日 13:00～17:00
 場所 東京国際フォーラム ホールD5

第一部 講演会

13:00-13:02	司会：開会宣言	竹林 幹雄〔神戸大学助教授／BM 研究会幹事〕
13:02-13:10	主催者挨拶	渡邊 英一〔RPI 理事長〕
13:10-13:30	基調講演	岡村 甫 〔高知工科大学学長〕 道路構造物の今後の維持・更新のあり方について
13:30-13:50	招待講演（1）	茅野 牧夫〔国土交通省道路局道路保全企画官〕 『荒廃する日本』としないための道路管理
13:50-14:00	休憩	
14:10-14:20	招待講演（2）	高木千太郎〔東京都建設局道路管理部専門副参事〕 東京都のアセットマネジメントへの取り組み
14:20-14:40	招待講演（3）	葛西 憲之〔青森県県土整備部理事〕 青森県の橋梁アセットマネジメントへの取り組み
14:40-15:00	招待講演（4）	小林 潔司〔京都大学大学院教授〕 ブリッジマネジメントの思想と実際

第二部 パネルディスカッション

座長 古田 均 〔関西大学教授/BM 研究会会長〕
 パネリスト 小林 潔司〔京都大学大学院教授〕
 那須 清吾〔高知工科大学教授/社会マネジメントシステムセンター長〕
 高木千太郎〔東京都建設局道路管理部専門副参事〕
 坂本 幸三〔大阪府都市整備部道路環境課長〕
 山本 昇 〔青森県県土整備部道路課アセットマネジメント推進チームリーダー〕
 久保 博道〔高知県土木部道路課長〕
 西林 素彦〔阪神高速道路橋保全施設部保全企画グループ補佐〕

15:15-15:17	司会：開会宣言	山口 隆司〔大阪市立大学大学院助教授／BM 研究会幹事〕
15:17-15:20	座長挨拶	古田 均 〔関西大学総合情報学部教授／BM 研究会会長〕
15:20-15:30	話題提供（1）	坂本 幸三〔大阪府都市整備部道路環境課長〕 大阪府の橋梁の現状と計画的な維持管理への取り組み
15:30-15:40	話題提供（2）	久保 博道〔高知県土木部道路課長〕 高知県におけるブリッジマネジメントの取り組みの現状と課題
15:40-15:50	話題提供（3）	西林 素彦〔阪神高速道路橋保全施設部保全企画グループ補佐〕 阪神高速におけるアセットマネジメントシステムの取り組みについて
15:50-16:55	ディスカッション	
16:55-17:00	まとめ	古田 均 〔関西大学教授／BM 研究会会長〕

詳細⑱：広島ブリッジマネジメントワークショップ

(広島工業大学(中山教授)と共同開催)

橋梁ライフサイクル会議「広島」ー橋梁の維持管理計画・技術の最前線ー

老朽化した数多くの橋梁の延命および更新に対する考え方と各種テクノロジーに関する情報を、安心・安全な地域社会づくりの一翼を担う管理者、技術者、研究者が共有し、互いの意見を交換することによって、この分野のポテンシャルを高めたいと考えています。この問題に関心を持っておられる方々に多数参加していただければ幸いです。

日 時：2006年(平成18年)12月1日(金) 13:00~17:00(開場：12:30)

会 場：広島市まちづくり市民交流プラザ 広島市中区袋町6番30号 Tel:(082)545-3911

参加費：無料

定 員：60名

お申込み方法：メールかファクシミリで、11月24日(金)必着で、「橋梁ライフサイクル会議「広島」」参加希望と書きいただき、ご氏名、ご所属、ご連絡先をご記入の上お申し込み下さい。

お申込み・お問合せ先：広島工業大学工学部都市建設工学科 中山研究室

Tel&Fax：082-921-5494

E-mail: nakayama@cc.it-hiroshima.ac.jp

プログラム

13:00-13:10 開会挨拶

(基調講演)

13:10-14:20 Asset Management Framework for Highway Transportation Systems

Dr. A. Emin Aktan (John Roebling Professor of Infrastructure Studies,
Drexel University, Philadelphia)

14:20-14:30 休憩

(一般講演)

14:30-14:55 スマートモニタリング技術の最前線

宮本則幸氏(株式会社 計測リサーチコンサルタント 企画開発室)

14:55-15:20 緊縮財源下における合理的な橋梁維持管理システム

土田 享氏(中電技術コンサルタント株式会社 フロンティアプロジェクト室)

15:20-15:45 広島県における橋梁の維持管理の現状と将来

泉谷伸生氏(広島県 道路保全室)

15:45-16:10 阪神高速の維持管理およびアセットマネジメントの概要

坂井康人氏(阪神高速道路株式会社 保全施設部)

16:10-16:20 休憩

16:20-16:50 総括およびIABMAS '06の報告

古田 均氏((財)大阪地域計画研究所(RPI)ブリッジマネジメント研究会会長、
関西大学総合情報学部・教授)

16:50-17:00 閉会挨拶

主 催：広島工業大学社会基盤ライフサイクルマネジメント研究センター

(財)大阪地域計画研究所(RPI)ブリッジマネジメント研究会

関西大学ライフサイクルサイエンス研究ユニット

後 援：広島県建設技術センター

詳細⑩：第2回ブリッジマネジメントフォーラム

平成 18 年 11 月 7 日

関係各位

ブリッジマネジメント研究会会長
関西大学教授 古田 均

第2回 ブリッジマネジメントフォーラム開催のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本年6月1日に全国の橋梁管理者、大学等公的研究機関および民間の研究者のご協力を得て、橋梁の維持管理に関する共同研究を促進する場として「ブリッジマネジメント研究会」を立ち上げました。去る6月7日には第1回のブリッジマネジメントフォーラムを東京にて開催し、多くの方にご参加いただきました。この度、第2回のブリッジマネジメントフォーラムを下記のように開催いたします。是非、多くの方のご参加をお願いいたします。また、お近くの方でご興味のお有り方にご案内いただけると幸いです。

敬具

記

主催 (財)大阪地域計画研究所、ブリッジマネジメント研究会

日時 平成 18 年 12 月 6 日 (水) 13:30 から 17:00 まで

場所 大阪市立大学文化交流センター ホール(大阪駅前第2ビル6F)

(〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-600)

- ・JR 東西線「北新地駅」下車、徒歩約 1 分
- ・JR 大阪環状線、東海道線「大阪駅」下車、徒歩約 3 分
- ・地下鉄四つ橋線「西梅田駅」、地下鉄谷町線「東梅田駅」下車、徒歩約 3 分
- ・阪神電鉄「梅田駅」下車、徒歩約 2 分
- ・阪急電鉄「梅田駅」下車、徒歩約 7 分

参加費 5,000 円 (テキスト代含む)、当日会場受付にてお支払い下さい。

参加申込 <http://www.rpi.or.jp/BMS/forum.html> にアクセスし、WEB 上でお申し込み下さい。

プログラム

第1部 基調講演

13:30～13:40 開会のあいさつ RPI 理事長 渡邊英一

13:40～14:10 基調講演(1)

「橋をめぐる今日的な話題」 近畿地方整備局 道路管理課長 加藤俊昌

14:10～14:40 基調講演(2)

「ブリッジマネジメントの今後の展望」 BM 研究会会長 古田 均

14:40～14:50 質疑

14:50～15:00 休憩

第2部 研究会活動報告とディスカッション

15:00～15:20 IABMAS'06 報告 RPI 理事長 渡邊英一

15:20～15:35 ホームページの開設と情報共有委員会報告

BM 研究会 情報共有委員会 副委員長 竹林幹雄

15:35～15:50 技術委員会報告 BM 研究会 技術委員会委員長 川谷充郎

15:50～16:00 質疑

16:00～16:55 ディスカッション 進行 技術委員会委員長 川谷充郎

16:55～17:00 閉会のあいさつ BM 研究会会長 古田 均

(以上)

第2回 ブリッジマネジメントフォーラム

於 大阪市立大学文化交流センター ホール

プログラム

第1部 基調講演

13:30～13:40 開会のあいさつ

RPI 理事長 渡邊英一

13:40～14:10 基調講演(1)

「橋をめぐる今日的課題と今後の方針」

近畿地方整備局 道路管理課長 加藤俊昌

14:10～14:40 基調講演(2)

「ブリッジマネジメントの今後の展望」

BM 研究会会長 古田 均

14:40～14:50 質疑

14:50～15:00 休憩

第2部 研究会活動報告とディスカッション

15:00～15:20 IABMAS'06 報告

RPI 理事長 渡邊英一

15:20～15:35 ホームページの開設と情報共有委員会報告

BM 研究会 情報共有委員会 副委員長 竹林幹雄

15:35～15:50 技術委員会報告

BM 研究会 技術委員会委員長 川谷充郎

15:50～16:00 質疑

16:00～16:55 ディスカッション

進行 技術委員会委員長 川谷充郎

16:55～17:00 閉会のあいさつ

BM 研究会会長 古田 均

詳細②：第3回ブリッジマネジメントフォーラム

平成19年7月1日

関係各位

ブリッジマネジメント研究会会長
関西大学教授 古田 均

第3回 ブリッジマネジメントフォーラム開催のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、第3回のブリッジマネジメントフォーラムを下記のように開催いたします。是非、多くの方のご参加をお願いいたします。また、お近くの方でご興味のお有り方にご案内いただくと幸いです。

敬具

記

主 催 (財)大阪地域計画研究所 ブリッジマネジメント研究会

日 時 平成19年8月3日(金) 10:30～16:00(受付開始10:00より)

場 所 アルカディア市ヶ谷(私学会館)6F阿蘇
(〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25)

<http://www.arcadia-jp.org/access.htm>

参加費 A会員 無 料

B会員 5,000 円/人

C会員 5,000 円で2名まで参加可

会員外 8,000 円/人

※当日会場受付にてお支払い下さい。

定 員 約160名

申込方法 <http://www.rpi.or.jp/BMS/index.html> にアクセスし、WEB 上でお申し込み下さい。

定員に達し次第、締め切らせていただきます。

プログラム

10:30～10:40 開会のあいさつ BM 研究会運営幹事 岩城 一郎

10:40～12:00 一般講演(1)

「Bridge Management and Health Monitoring」(仮題)

Prof. Dan M. Frangopol, Lehigh University, USA

12:00～13:00 休 憩

13:00～14:20 一般講演(2)

「Bridge Health Monitoring in Europe」(仮題)

Prof. Joan R. Casas, Technical University of Catalonia, Spain

14:20～14:30 休 憩

14:30～15:50 一般講演(3)

「Bridge Health Monitoring in USA」(仮題)

Prof. Necati Catbas, University of Central Florida, USA

15:50～16:00 閉会のあいさつ BM 研究会会長 古田 均

(※講演は英語で行いますが、逐次通訳を予定しております。)

以 上

第3回 ブリッジマネジメントフォーラム

主 催 (財)大阪地域計画研究所 ブリッジマネジメント研究会

日 時 平成19年8月3日(金) 10:30～16:00

場 所 アルカディア市ヶ谷(私学会館) 6F阿蘇

(〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25)

プログラム

10:30～10:40 開会のあいさつ BM研究会運営幹事 岩城 一郎

10:40～12:00 一般講演(1)

“Integrated Life-Cycle Health Monitoring, Maintenance, Management, and
Cost of Civil Infrastructure “

Prof. Dan M. Frangopol, Lehigh University, USA

12:00～13:00 休 憩

13:00～14:20 一般講演(2)

“Structural Health Monitoring of Bridges “

Prof. Joan R. Casas, Technical University of Catalonia, Spain

14:20～14:30 休 憩

14:30～15:50 一般講演(3)

“Condition Assessment of Prestressed Concrete Transit Guideways “

Prof. Necati Catbas, University of Central Florida, USA

15:50～16:00 閉会のあいさつ BM研究会会長 古田 均

詳細②：横浜ブリッジマネジメントワークショップ
(道路橋補修補強 i-ギルド研究会と共同開催)

「構造物の維持管理講演会」

主 催：道路橋補修・補強 i-ギルド研究会
ブリッジマネジメント研究会

日 時：平成 19 年 9 月 25 日（火） 13:00～17:00

場 所：横浜みなとみらいクイーンズタワー B 棟 7 階 E 会議室
http://www.qsy.co.jp/htm/f_annai.htm

プログラム

- | | |
|-------------|--|
| 13:00～13:05 | 「開会の辞」
道路橋補修・補強 i-ギルド研究会 山崎 淳 会長（日大 教授） |
| 13:05～15:10 | 「2006 米国土木構造物 補修・補強調査 報告」
講師：調査団員 |
| 15:20～16:00 | 「I A B S E 国際会議&バルト 3 国訪問 速報」
講師：池田 甫 i-ギルド 副会長（日本工営 顧問） |
| 16:00～16:20 | 「コンクリート非破壊検査への画像技術の応用」
講師：小出 博 ニコンシステム 部長 |
| 16:20～17:00 | 「Long Term Bridge Performance Program」
講師：古田 均 関西大 教授（BMS 研究会 会長） |
| 17:00～17:05 | 「閉会の辞」
ブリッジマネジメント研究会 古田 均 会長
(道路橋補修・補強 i-ギルド研究会 池田 甫 副会長) |

懇親会

17:30～ クイーンズタワー C 棟 6 階「キャフェテリア」

http://www.qsy.co.jp/htm/f_annai.htm

司会：上阪理事

- 開会の挨拶&乾杯：出雲 理事（関東学院大学 教授）
- 閉会の挨拶： ? 未定

詳細②：北海道ブリッジマネジメントワークショップ
(北海道土木技術会と共同開催)

会 員
各 位
土木技術者

平成19年 9月
北海道土木技術会
鋼道路橋研究委員会
委員長 林川 俊郎

技術講演会のご案内

タイトル：「地方公共団体における橋梁維持管理について」

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、現在、多くの既設橋梁は、建設後かなりの年数が経過しており、老朽化しているものも少なくありません。これらの橋梁の維持管理は、今後重要な問題になることは間違いありません。限られた予算の中で適切な維持管理を行い、橋梁の寿命をいかに延ばすか。現在、その維持管理業務を支援する合理的なシステム「BMS (Bridge Management System)」を構築しようとの動きが全国各地で巻き起こっています。

この度当委員会では、関西地区において、このシステムの研究で御活躍されている「BM研究会」の委員の方を講師にお招きし、技術講演会を下記の通り開催することになりました。

ご多忙中とは存じますが、お誘いあわせの上、多数ご出席くださるようご案内申し上げます。

敬具

記

主 催 北海道土木技術会 鋼道路橋研究委員会
後 援 北海道 建設部
日 時 平成19年 10月 4日 (木) 13:30～17:00
会 場 ホテル ポールスター札幌 2階 (セレナード)
札幌市中央区北4条西6丁目 TEL 011-241-9111
参 加 費 無 料

プログラム

13:30～13:35 開会挨拶

13:35～14:35 技術講演-1

「橋梁の維持管理とブリッジマネジメントシステムの現状と将来展望」

関西大学 総合情報学部 教授 古田 均

14:35～15:35 技術講演-2

「ライフサイクルコストと費用便益：土木計画学の視点から」

神戸大学 工学部 准教授 竹林 幹雄

——— 休 憩 ———

15:50～16:50 技術講演-3

「阪神高速道路のブリッジマネジメントシステム H-BMS」

阪神高速道路株式会社 保全交通部保全企画グループ アシスタントマネージャー 坂井 康人

16:50～17:00 閉会挨拶

【備 考】

お手数ですが、FAXまたはメールにて9月25日までに参加申し込みをお願い致します。

(申し込み先は添付を御参照下さい)

詳細②：鳥取ブリッジマネジメントワークショップ
(鳥取大学(井上教授)と共同開催)

2007年11月7日

関係各位

鳥取大学工学部 教授 井上 正一
BM研究会会長 古田 均(関西大学教授)

ブリッジマネジメント・ワークショップ開催のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

社会資本の維持管理、なかでも道路橋の維持管理をこれからどのように行っていくかは、土木技術者にとって大きな課題となっております。

道路橋の維持管理には、点検手法、劣化予測手法、個々の劣化・損傷に対する補修・補強の方法、ブリッジマネジメントシステム(BMS)を活用した効率的な維持管理手法、あるいはそれらの全ての実務に携わる人材の育成や社会体制など数多くの課題があります。社会資本の維持管理に携わる土木技術者全員が、情報共有と意見交換を通じて一致協力してこの問題に取り組むことが大切だと考えております。

この度、この分野での調査・研究ならびに実践において積極的な活動を展開している土木技術者の方々を招いて、国内外における最新情報の共有と意見交換を行う場として、ブリッジマネジメント・ワークショップを開催する運びとなりました。ご多忙とは存じますが、できるだけ多くの方にご参加いただきたくご案内申し上げる次第です。また、お近くの方でご興味をお持ちの方にもご案内いただけると幸いです。

敬具

記

主 催	鳥取大学 (財)大阪地域計画研究所(RPI)ブリッジマネジメント研究会
共 催	土木学会中国支部 日本コンクリート工学協会中国支部 日本材料学会中国支部 道路橋補修補強イーギルド研究会
日 時	平成19年12月11日(火) 13:30~17:00(受付開始:13:00)
場 所	鳥取大学工学部 大学院棟 大講義教室 (〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101)
参加費	無 料
テキスト	「2006年 米国土木構造物 補修・補強調査報告書」 希望者は事前予約販売(申込書に記載下さい):(販売価格 3,150円)
定 員	約130名
参加申込	次のいずれかの方法でお申し込み下さい。 (定員に達し次第、締め切らせていただきます) ①FAXによる申込:鳥取大学・工学部 土木工学科 井上 正一宛 0857-28-7899(別紙用紙にて) ②Webによる申し込み:BM研究会[http://www.rpi.or.jp/BMS/forum.html]
プログラム	別紙開催案内をご参照下さい
CPD	本ワークショップは土木学会の継続教育制度(CPD)に申請済みです。 登録手続きは各自で行ってください(CPD単位:6.0)

ブリッジマネジメント・ワークショップ開催案内

主 催 鳥取大学
(財)大阪地域計画研究所(RPI)ブリッジマネジメント研究会

共 催 土木学会中国支部
日本コンクリート工学協会中国支部
日本材料学会中国支部
道路橋補修・補強i-ギルド研究会

日 時 平成19年12月11日(火) 13:30~17:00(受付開始 13:00)

場 所 鳥取大学工学部 大学院棟 大講義教室
〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101

問合せ先 鳥取大学・工学部 土木工学科(井上教授室)
電話(0857)31-5279 F A X (0857) 28-7899

プログラム

開会

13:30~13:40 開会の挨拶 [鳥取大学教授 井上 正一]

テーマ1：コンクリート構造物の塩害の実態とその対策

13:40~14:10 塩害を受けたPC橋梁の詳細調査報告 [BM研究会研究委員 岩井 稔]

・ 宇名原橋(青森県)の解体調査報告

14:10~14:50 コンクリートの塩害対策/フロリダ州交通局腐食研究室視察報告

・ 電気防食工法の開発と実用化 [i-ギルド研究会 宮口 克一]

・ 耐腐食性鉄筋の性能検証実験

・ 腐食抑制剤の性能検証実験

14:50~15:00 休憩

テーマ2：道路橋の維持管理とブリッジマネジメントシステム(BMS)

15:00~15:40 BMSの実用化事例紹介 [青森県県土整備部 川村 宏行]

・ BMSの構築と導入

・ BMSの運用と橋梁マネジメントの成果

15:40~16:20 BMSを用いた橋梁長寿命化修繕計画策定 [RPI理事 金氏 眞]

テーマ3：道路施設の包括的維持管理(アメリカ視察報告)

16:20~16:50 ヴァージニア州交通局視察報告 [RPI理事 金氏 眞]

閉会

16:50~17:00 閉会の挨拶 [BM研究会会長・関西大学教授 古田 均]

以 上

詳細④：高松ブリッジマネジメントワークショップ
(香川大学と共同開催)

ブリッジマネジメント・ワークショップ開催案内

主 催 (財)大阪地域計画研究所(RPI)ブリッジマネジメント研究会
共 催 香川大学危機管理研究センター
道路橋補修・補強i-ギルド研究会
日 時 平成20年5月30日(金) 13:30~17:00(受付開始 13:00)
場 所 香川大学研究交流棟5F 研究者交流スペース(幸町キャンパス、教育学部内)
(〒761-8521 香川県高松市幸町1-1)
参照URL: <http://www.ed.kagawa-u.ac.jp/~HPmaster/campus.html>
問合せ先 香川大学・工学部・信頼性情報システム工学科(白木教授室)
電話 087-864-2243 F A X 087-864-2243

プログラム

開会

- | | | |
|-------------|-------------------------------|-----------------------|
| 13:30~13:40 | 開会の挨拶 | [香川大学教授 白木 渡] |
| 13:40~14:10 | 塩害劣化予測システムの開発と応用 | [香川大学教授 松島 学] |
| 14:10~14:50 | BMSの実用化事例紹介 | [青森県県土整備部 川村 宏行] |
| | ・ BMSの運用と橋梁マネジメントの成果 | |
| | ・ BMSを用いた橋梁長寿命化修繕計画策定 | |
| 14:50~15:00 | 休憩 | |
| 15:00~15:40 | 橋梁点検のポイント | [RPI技術顧問 羽子岡 爾朗] |
| 15:40~16:20 | コンクリートの塩害対策／フロリダ州交通局腐食研究室視察報告 | |
| | | [i-ギルド研究会 宮口 克一] |
| | ・ 電気防食工法の開発と実用化 | |
| | ・ 耐腐食性鉄筋の性能検証実験 | |
| | ・ 腐食抑制剤の性能検証実験 | |
| 16:20~16:50 | 道路施設の包括的維持管理(アメリカ視察報告) | |
| | ・ ヴァージニア州交通局視察報告 | [RPI理事 金氏 眞] |
| 閉会 | | |
| 16:50~17:00 | 閉会の挨拶 | [BM研究会会長・関西大学教授 古田 均] |
| | | 以 上 |

詳細②⑤：ブリッジマネジメント研究会第3回総会

2008年5月12日

ブリッジマネジメント研究会
会員各位

財団法人大阪地域計画研究所
Regional Planning Institute (RPI)
ブリッジマネジメント研究会
会長 古田 均

ブリッジマネジメント研究会 第3回総会のご案内

拝啓、時下ますますご清祥のことと存じます。

ブリッジマネジメント研究会規約第10条に基づき、第3回総会を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

敬具

記

- 1 日 時 : 200 年 6 月 5 日(木) 13:00～13:30
- 2 場 所 : 関西大学東京センター
(東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー 9F)
<http://www.kansai-u.ac.jp/Kouhou/tokyo.html>
※ 入館には、3F専用受付でお渡しする「入館カード」が必要となります。
- 3 議 案 :
 - 1) 平成 19 年度活動報告
 - 2) 平成 20 年度活動計画

なお、総会に引き続いて、第4回ブリッジマネジメントフォーラムの開催を同所にて予定しております。こちらの行事にも是非ご出席下さい。
フォーラムの開催案内は、別紙をご参照下さい。

以 上

詳細②：第4回ブリッジマネジメントフォーラム

2008年5月12日

関係各位

ブリッジマネジメント研究会会長
関西大学教授 古田 均

第4回 ブリッジマネジメントフォーラム開催のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、第4回のブリッジマネジメントフォーラムを下記のように開催いたします。是非、多くの方のご参加をお願いいたします。また、お近くの方でご興味のお有り方にご案内いただけると幸いです。

敬具

記

主 催 開催大学国際ライフサイクルサイエンス研究ユニット
(財)大阪地域計画研究所 ブリッジマネジメント研究会

日 時 2008年6月5日(木) 14:00～17:00(受付開始13:30より)

場 所 関西大学東京センター(東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー9F)

<http://www.kansai-u.ac.jp/Kouhou/tokyo.html>

※入館には、3F専用受付でお渡しする「入館カード」が必要となります。

参加費 会 員：無 料

会員外：3,000円/人(※当日会場受付にてお支払い下さい。)

定 員 約120名

申込方法 <http://www.rpi.or.jp/BMS/index.html>にアクセスし、WEB上でお申し込み下さい。

定員に達し次第、締め切らせていただきます。

プログラム

14:00～14:10 開会のあいさつ BM研究会会長 古田 均

14:10～15:30 講演(1)

「道路橋の維持管理、予防保全、長寿命化について」

名古屋大学大学院環境学研究科 教授 山田健太郎 氏

15:30～15:45 休 憩

15:45～16:20 講演(2)

「青森県橋梁長寿命化修繕計画の策定」

青森県橋梁長寿命化修繕計画策定委員会 委員 松村英樹 氏

16:20～16:55 講演(3)

「道路施設保全業務の包括的民間委託についてー海外事例報告ー」

(財)大阪地域計画研究所 理事 金氏 眞

16:55～17:00 閉会のあいさつ BM研究会会長 古田 均

以 上

詳細②：金沢ブリッジマネジメントワークショップ

(金沢大学と共同開催)

2008年10月20日

関係各位

金沢大学 教授 近田 康夫
BM研究会会長 古田 均(関西大学教授)

ブリッジマネジメント・ワークショップ開催のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

社会資本の維持管理、なかでも道路橋の維持管理をこれからどのように行っていくかは、土木技術者にとって大きな課題となっております。道路橋の維持管理には、点検手法、劣化予測手法、個々の劣化・損傷に対する補修・補強の方法、ブリッジマネジメントシステム(BMS)を活用した効率的な維持管理手法、あるいはそれらの全ての実務に携わる人材の育成や社会体制など数多くの課題があります。社会資本の維持管理に携わる土木技術者全員が、情報共有と意見交換を通じて一致協力してこの問題に取り組むことが大切だと考えております。

この度、この分野での調査・研究ならびに実践において積極的な活動を展開している土木技術者の方々を招いて、国内外における最新情報の共有と意見交換を行う場として、ブリッジマネジメント・ワークショップを開催する運びとなりました。ご多忙とは存じますが、できるだけ多くの方にご参加いただきたくご案内申し上げます次第です。また、お近くの方でご興味をお持ちの方にもご案内いただけると幸いです。

敬具

記

主 催 金沢大学理工研究域環境デザイン学系
(財)大阪地域計画研究所(RPI) ブリッジマネジメント研究会

共 催 石川県建設コンサルタント協会、富山県技術士会、(社)富山県測量設計業協会、
北陸技術士懇談会、道路橋補修補強イギルド研究会

日 時 平成20年11月21日(金) 13:00~17:00(受付開始 12:30~)

場 所 石川県地場産業振興センター 本館2F第1研修室
(〒920-8203 石川県金沢市鞍月2丁目1番地)
参照URL: <http://www.ishijiba.or.jp/>

参加費 無 料

テキスト 「2006年 米国土木構造物 補修・補強調査報告書」
希望者は事前予約販売(申込書に記載下さい):(販売価格3,150円)

定 員 約120名

参加申込 次のいずれかの方法でお申し込み下さい。
(定員に達し次第、締め切らせていただきます)

①FAX: 金沢大学理工研究域環境デザイン学系 近田康夫宛
②Web: BM研究会[<http://www.rpi.or.jp/BMS/forum.html>]

プログラム 別紙開催案内をご参照下さい

CPD 本ワークショップは(社)土木学会の継続教育(CPD)プログラムに認定
されています。登録手続きは各自で行ってください(CPD単位: 3.5)

以 上

ブリッジマネジメント・ワークショップ

ー アセットマネジメントの事例紹介と将来展望 ー

主 催 金沢大学理工研究域環境デザイン学系
(財)大阪地域計画研究所(RPI)ブリッジマネジメント研究会

共 催 石川県建設コンサルタント協会, 富山県技術士会, (社)富山県測量設計業協会,
北陸技術士懇談会, 道路橋補修補強工一ギルド研究会

日 時 平成20年11月21日(金) 13:00~17:00 (受付開始 12:30~)

場 所 石川県地場産業振興センター 本館2F第1研修室
(〒920-8203 石川県金沢市鞍月2丁目1番地)
参照URL: <http://www.ishijiba.or.jp/>

問合せ先 金沢大学理工研究域環境デザイン学系(近田教授室)
電話 076-234-4634 FAX 076-234-4644

プログラム

13:00~13:10	開場	
13:10~13:20	開会の挨拶	〔金沢大学教授 近田康夫〕
13:20~14:00	橋梁の移設再利用	〔金沢大学教授 梶川康男〕
14:00~14:40	BMSの実用化事例紹介(予定) ・BMSの運用と橋梁マネジメントの成果 ・BMSを用いた橋梁長寿命化修繕計画の策定	〔青森県県土整備部 川村宏行〕
14:40~14:50	休憩	
15:00~15:30	阪神高速における維持管理マネジメントの取り組み	〔阪神高速道路(株) 坂井康人〕
15:30~16:00	鋼構造物の腐食進展に伴う強度予測	〔広島大学大学院准教授 藤井 堅〕
16:00~16:30	道路施設の包括的維持管理(アメリカ視察報告)	〔RPI理事 金氏 眞〕
16:30~16:50	自由討論	
16:50~17:00	閉会の挨拶	〔BM研究会会長・関西大学教授 古田 均〕

以 上

詳細⑳：ブリッジマネジメント研究会第4回総会

2009年5月14日

ブリッジマネジメント研究会
会員各位

ブリッジマネジメント研究会
会長 古田 均

ブリッジマネジメント研究会 平成21年度総会のご案内

拝啓、時下ますますご清祥のことと存じます。

ブリッジマネジメント研究会規約第10条に基づき、平成21年度総会を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

敬具

記

- 1 日 時 : 2009年6月1日(月) 13:00～13:30
- 2 場 所 : 大阪市立大学文化交流センター ホール
(〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-600, 駅前第2ビル6F)
- 3 議 案 :
 - 1) 平成20年度活動報告
 - 2) 平成20年度収支決算報告
 - 3) 平成21年度活動計画
 - 4) 平成21年度収支予算(案)

なお、総会に引き続いて、ブリッジマネジメントフォーラムを同所にて開催します。添付フォーラム開催のご案内をご覧ください。

以 上

詳細②：第5回ブリッジマネジメントフォーラム

平成 21 年 5 月 14 日

関係各位

ブリッジマネジメント研究会会長
関西大学教授 古田 均

第5回 ブリッジマネジメントフォーラム開催のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、第5回のブリッジマネジメントフォーラムを下記のように開催いたします。是非、多くの方のご参加をお願いいたします。また、お近くの方でご興味のお有り方にご案内いただけると幸いです。

敬具

記

主 催 (財)大阪地域計画研究所 ブリッジマネジメント研究会

日 時 平成 21 年 6 月 1 日 (月) 14:00～17:00 (受付開始 13:30 より)

場 所 大阪市立大学文化交流センター ホール

(〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2・600, 駅前第 2 ビル 6 F)

参加費 会員 無 料

非会員 3,000 円/人

※当日会場受付にてお支払い下さい。

定 員 約 100 名

申込方法 <http://www.rpi.or.jp/bmrc/> にアクセスし、WEB上でお申し込み下さい。

定員に達し次第、締め切らせていただきます。

プログラム

14:00～14:10 開会のあいさつ BM 研究会会長 古田 均

14:10～15:10 基調講演

「橋梁の維持管理の現状と展望」

北田俊行 大阪市立大学名誉教授・客員教授

15:10～15:30 質 疑

15:30～15:40 休 憩

15:40～16:40 研究報告

「塩害による劣化が進行した PC 橋の耐荷性能評価に関する研究」

岩城一郎 日本大学工学部准教授

16:40～16:50 質 疑

16:50～17:00 閉会のあいさつ RPI 理事長 渡邊英一

以 上

詳細③：第6回ブリッジマネジメントフォーラム

平成 22 年 5 月 31 日

関係各位

ブリッジマネジメント研究会会長
関西大学 教授 古田 均

第6回ブリッジマネジメントフォーラム開催のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、第6回のブリッジマネジメントフォーラムを下記のように開催いたします。是非、多くの方のご参加をお願いいたします。また、お近くの方でご興味のお有り方にご案内いただけると幸いです。

敬具

記

主 催 (財)大阪地域計画研究所ブリッジマネジメント研究会

日 時 平成 22 年 6 月 21 日 (月) 14:30～16:40 (受付開始 14:00 より)

場 所 大阪市立大学文化交流センターホール

(〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-600, 駅前第 2 ビル 6 F)

参加費 会員 無 料

非会員 3,000 円/人

※当日会場受付にてお支払い下さい。

定 員 約 100 名

申込方法 <http://www.rpi.or.jp/bmrc/> にアクセスし、WEB 上でお申し込み下さい。

定員に達し次第、締め切らせていただきます。

プログラム

14:30～14:40 開会のあいさつ BM 研究会副会長 川谷充郎

14:40～15:20 基調講演 (1)

「コンサルタントから見た橋梁維持管理の現場事情 (その 1) (仮題)」

鈴木直人氏 (株)建設技術研究所 道路・交通部部長

15:20～15:30 質疑

15:30～15:40 休憩

15:40～16:20 基調講演 (2)

「コンサルタントから見た橋梁維持管理の現場事情 (その 2) (仮題)」

藤井久矢氏 パシフィックコンサルタンツ(株)

保全マネジメントグループ グループリーダー

16:20～16:30 質疑

16:30～16:40 閉会のあいさつ RPI 理事長 渡邊英一

以上

詳細⑪：第7回ブリッジマネジメントフォーラム

第7回

2011 年度

ブリッジマネジメントフォーラム

主催 大阪地域計画研究所
ブリッジマネジメント研究会

日時 : 2011 年 6 月 24 日 (金) 13 時 30 分～16 時 00 分

場所 : 大阪市立大学 文化交流センター 大会議室

(大阪市北区梅田 1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階)

プログラム

13:30～13:45 BM研究会総会

基調講演および研究報告

14:00～15:00 “東北発” 橋梁長寿命化のための研究紹介

1. 新赤石大橋に関する共同研究
2. 松塚川橋に関する共同研究
3. “東北発” ブリッジマネジメント支援ツールの構築

(15:00～15:15 休憩)

15:15～15:45 奈良県の BMS

奈良県土木部道路管理課 浜本雄司氏

15:45～16:00 閉会挨拶 (RPI 渡邊英一理事長)

(以上)

詳細②：NPO 関西橋梁維持管理－大学コンソーシアム（KISS）

キックオフ講演会

「NPO 関西橋梁維持管理－大学コンソーシアム」

キックオフ講演会

－ 関西の橋梁をみんなで守るために －

日時：2011年6月29日（水）13時30分～16時30分

場所：大阪市立大学 文化交流センター ホール

（大阪市北区梅田 1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階）

プログラム

13:30～14:00 NPO の概要説明 （理事長・関西大学 古田 均）

14:00～15:00 高木さんのご講演

東京都道路整備保全公社 道路アセットマネジメント推進室
首都高速道路技術センター上席研究員

高木千太郎氏

（15:00～15:15 休憩）

15:15～16:15 都市内高架橋の維持管理

－ 阪神高速における取り組み－

阪神高速道路（株）保全交通部 加賀山泰一氏

16:15～16:30 閉会挨拶 （大阪市立大学 山口隆司）

（以上）

NPO法人 「関西橋梁維持管理－大学コンソーシアム」

① トップ ② 設立趣旨 ③ NPO設立への軌跡 ④ 活動実績 ⑤ 役員会員 ⑥ 活動内容 ⑦ 講座のご案内 ⑧ NEW

FrontPage

KISS (Kansai Infrastructure Sustainable Station)

What's NEW

2011.08 非営利学術団体「関西橋梁維持管理－大学コンソーシアム」
は非営利事業活動法人（NPO法人）として活動を開始しました。
2011.09 講座のご案内をUPしました。

理事長からの挨拶

NPO法人「関西橋梁維持管理－大学コンソーシアム」を関西地区の10大学（大阪大学、大阪工業大学、大阪産業大学、大阪市立大学、関西大学、京都大学、近畿大学、神戸大学、摂南大学、立命館大学）共同で設立をいたしました。本NPO法人の目的は、地方自治体・企業・コミュニティ・市民等に対して、専門技術者の豊富な経験と知識を活用し、社会資本の長寿命化に関する開発研究、政策提言、調査、情報の共有化とそれに伴う審査、指導、教育、各種サポートおよび技術の継承・普及、人材育成、講習会、資格、広報活動事業等に関する事業を行うことにより、もって社会全体の利益の増進に寄与することです。



最近、関西地区におきましては以下の橋梁の維持管理に関する活動が行われてきました。

- ▶ 土木学会関西支部支部長懇談会－社会インフラの維持管理－
- ▶ 関西橋梁維持管理に関する円卓会議
- ▶ 関西地域における効率的な道路橋維持管理の実現にむけた提言
- ▶ 道路橋の予防保全による長寿命化に関する講演会
- ▶ 支部長特別委員会 「社会基盤施設の維持管理のための各種スキーム検討委員会」

これらの動き並びにその提言を受けて本NPOは、当面以下の活動を行う予定です。

- ▶ 講習会の開催
- ▶ 講演会の開催
- ▶ 人材教育
- ▶ 教育のためのe－ラーニングシステムの開発
- ▶ 共通データベースの開発

是非、本NPOの趣旨をご理解いただき、技術協力、支援等をお願いできればと存じます。
よろしくお申し込み申し上げます。

理事長 関西大学教授 吉田 均

↑ページのトップへ / トップ

メニュー

- ▶ トップ
- ▶ 設立趣旨
- ▶ 申請までの経過
- ▶ NPO設立への軌跡
- ▶ 活動実績
- ▶ 役員会員
- ▶ 活動内容
- ▶ 今後2年間の活動
- ▶ 会員
- ▶ 講座のご案内
- ▶ NEW
- ▶ 協力関係
- ▶ 連絡先

平成 21 年 10 月 15 日

関西インフラ・サステナブル・ステーション*設立趣意書

高度経済成長期に集中して建設された社会インフラの維持管理は現在緊喫の重要な課題である。最近、海外において経年劣化した橋梁の崩落事故が相次いで起こっており、わが国においてもトラス橋の弦材に大きな亀裂が発見されている。国土交通省では道路橋の予防保全に向けた取り組みとして、2004 年度から直轄橋梁の点検作業を開始し、補修・補強対策を施しながら 2008 年度で点検作業を一巡している。これに対して、地方自治体における橋梁の老朽化対策は遅れており、国は補助制度を設けて橋の予防保全に基づく老朽化対策に着手するように促している。現在、全国に約 146,000 (スパン長 15 m 以上)の道路橋があり、そのうち 58%を市町村が管理している。これら市町村が管理する橋については、限られた技術者と少ない予算制約の中で、橋の現況さえも把握できていない例が多数見受けられる。市町村が管理する橋を適切に維持管理するためには、市町村の道路管理者が橋の維持管理技術を身につけることが一番の近道であるが、費用や時間の面で簡単ではない。以上に鑑み、本研究拠点では、社会インフラ、特に地方自治体の管理する道路施設(橋梁、土工、トンネル、その他)を対象に、その維持管理に関する総合的な研究を実施する。

本研究拠点形成の目的は、道路施設の持続的保全を行うことによる安心・安全な社会の実現にある。すなわち、「関西発 安心・安全の社会実現のための社会インフラの持続的保全」であり、その社会的意義は大きい。そのために、本研究拠点を産官学協同機構と位置づけ、社会インフラの維持管理に関する人材育成、技術の継承、情報の共有、教育、審査、資格、講習会、各種サポートを、大阪府、大阪市を始めとする地方自治体、高速道路会社、民間コンサルタンツ会社、橋梁メーカー等の支援を受け、実施していく。なお、本研究拠点は、昨年度まで設置されていた国際ライフサイクルサイエンス研究プロジェクトを基に、BME(Bridge Maintenance Engineering)研究会を発展的に解消して設置する予定である。

趣旨を十分にご理解いただき、本研究拠点の設立にご賛同頂きますようお願いいたします。

* Kansai Infrastructure Sustainable Station: KISS

関西インフラ・サステナブル・ステーション設立準備会

古田 均

堂垣 正博

広兼 道幸

鶴田 浩章